

# ケシンプタ®皮下注20mgペンの投与方法

ケシンプタは、皮膚の下に投与（皮下投与）する“ペン型”のお薬です。  
ケシンプタを正しく使用していただくためにも、以下の記載事項をきちんと守って投与してください。

## ● ペンの各部位の名称と保存方法



### ⚠ ケシンプタ保存時の注意事項

- 箱に入れたまま、「冷蔵庫」(2~8℃)で保存してください。
- 冷凍庫などで凍結させないでください。
- 直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 子どもの手の届かない場所に置いてください。

冷蔵庫に  
保存



## ● ケシンプタの投与スケジュール



## ● STEP 1 自己投与を行う前に「準備」する

### 1 箱を「冷蔵庫」から出して室温に戻す

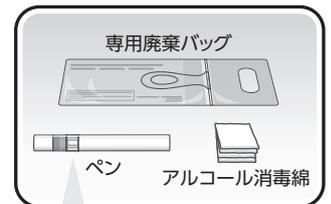
投与する15~30分前、ペンが入った箱を冷蔵庫から出し、箱のまま室温に戻します。



### 2 投与に必要なものを並べる

消毒したテーブルなどの上に、下記のを並べて準備します。

- ペン1本 (室温に戻し、箱から出したペン)
- アルコール消毒綿
- 専用廃棄バッグ



### 3 自己投与を行う部位を選ぶ

#### ⚠ 注意

- 投与部位は毎回変更してください。(前回の投与部位から3cm以上離れた場所に投与すること)
- 「腹部」の場合は、へその周り5cm程度は避けて投与してください。
- 「上腕部の外側」は、ご家族の方など、患者さんご本人以外の方が投与される場合のみ投与できます。
- 皮膚が敏感な部位、皮膚に痛み、傷、赤み、かさつき、傷あとがある部位、硬くなっている部位には投与しないでください。

上腕部の外側 (二の腕)  
(患者さんご本人以外の方の投与時のみ)



#### ⚠ 薬液の状態を「薬液確認窓」で確認し、下記の場合はペンを使用せず、主治医に連絡してください

- 薬液が本薬の性状 (無色~微褐色の澄明またはわずかに混濁した液) と異なる場合
- 薬液に異物 (粒、塊など) が混ざっている場合 (薬液中に気泡が見える場合がありますが、問題ありません)
- ペンの使用期限 (外箱に表示) が過ぎている場合
- ペンが破損している場合

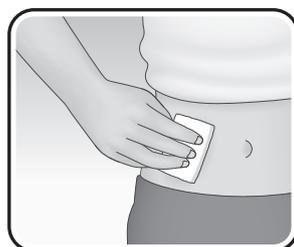
## ● STEP 2 「自己投与」を行う

こちらでは「腹部」に皮下投与する場合の投与方法を示しますが、他の部位でも同様です

### 1 投与部位\*を消毒する

投与部位\*とその周囲を広めに、アルコール消毒綿で消毒します (消毒後は投与部位に触れないこと)。

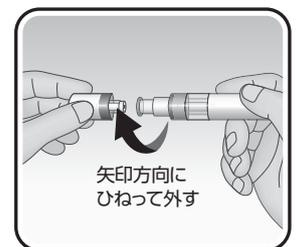
※: 腹部 (へその周り5cm程度は避ける) または大腿部または上腕部の外側 (患者さんご本人以外の方が投与される場合のみ)



### 2 キャップをひねって外す

#### ⚠ 注意

- キャップを外したらすぐに投与してください。外したキャップは専用廃棄バッグに入れ、再度ペンにはめないでください。
- 注射針の先に薬液の水滴が見えることがあります。問題ありません。



## ● STEP 2 「自己投与」を行う (続き)

こちらでは「腹部」に皮下投与する場合の投与方法を示しますが、他の部位でも同様です

### 3 ペンを投与部位にしっかり押し付けて、薬液注入開始

ペンを投与部位に直角にしっかり押し付けると、「カチッ」と音がして薬液の注入が始まりますので、ペンは押し付けたままにしてください。すると、薬液確認窓から見える緑色の「確認バー」が動き始めます。



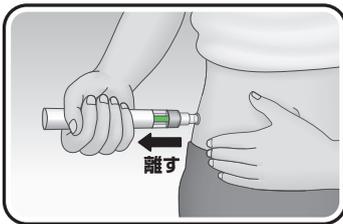
### 4 再度「カチッ」と音がして、緑色の「確認バー」の動きが止まったら、薬液注入完了

最初に「カチッ」と音がしてから3~4秒程度経過すると、今度は薬液注入完了の目安として、2回目の「カチッ」という音がします。2回目の「カチッ」という音がしても、緑色の「確認バー」が下まで完全に下がって動きが止まるまで、ペンを投与部位から離さないでください。



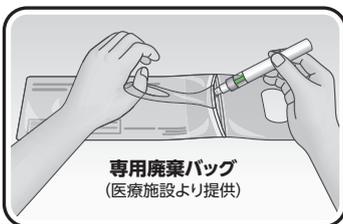
### 5 ペンを投与部位から離す

緑色の「確認バー」の動きが止まったら、ペンを投与部位から離してください。なお、投与部位に少量の出血がみられる場合は、新しいアルコール消毒綿で投与部位を揉まずに10秒間押さえてください(必要に応じて絆創膏を使用)。



### 6 投与後の使用済みのペンとキャップを廃棄する

使用済みのペンとキャップは、直ちに専用廃棄バッグに入れ、各医療施設のルールに従い、「医療廃棄物」として適切に廃棄してください(キャップは、ペンにはめないこと)。なお、ペンは再使用できません。



これで投与完了です

## ● よくある質問 Q&A

#### Q. 投与予定日に投与するのを忘れてしまいました。どうしたらよいですか？

A. 投与予定日に投与できなかった場合は、気が付いた時点でできるだけ速やかに投与していただき、その後は規定された投与間隔で投与してください。

#### Q. 投与予定日に、旅行や出張が入ってしまいました。どうしたらよいですか？

A. 旅行や出張の予定日がわかりましたら、事前に主治医にご相談ください。また、その他の理由で投与予定日に投与できない場合も、あらかじめ主治医に連絡して指示に従ってください。ケシンプタを持ち運ぶ場合は、保冷剤入りのバッグに入れて持ち運んでください(2~8℃で保存する必要があります)。その際は、専用廃棄バッグも忘れずに持ち運んでください。なお、専用廃棄バッグが手元にない場合は、ビンや缶などの硬い容器で代用してください。

#### Q. 体調がすぐれない時も、予定通り投与したほうがよいですか？

A. 風邪などの感染症の症状(喉の痛み、寒気、発熱、咳など)があったり、体調がすぐれない時は無理に投与せず、主治医に連絡してください。

#### Q. ペンを投与部位に押し付けても、薬液の注入が始まりません。どうしたらよいですか？

A. ペンが正しく押し付けられていないおそれがあります。ペンは投与部位に対して直角に当て、しっかり押し付けてください。腹部に投与する場合、皮膚が柔らか過ぎて、針カバーを押し込めない場合もありますので、必要に応じて皮膚を軽くつまんで投与部位を固定してください。それでも薬液の注入が始まらない場合は、ペンが破損しているおそれがありますので、主治医に連絡して指示に従ってください。

#### Q. 注入完了時に「カチッ」という音が聞こえませんでした。問題ありませんか？

A. 「カチッ」という音が聞こえなかった時は、緑色の「確認バー」の動きで、注入が完了しているかどうかを確認することができます。緑色の「確認バー」が下まで完全に下がり動きが止まっていれば、注入は完了していますので、問題ありません。

#### Q. 投与している際に、薬液が漏れてしまいました。どうしたらよいですか？

A. 薬液がどの程度漏れたのか、主治医に連絡して指示に従ってください。